

日中友好のしんぶん

大阪と中国

●編集・発行

特定非営利活動法人

大阪府日本中国友好協会

〒543- 大阪市天王寺区大道5-4-6

0052

大阪スカウト会館2F

TEL06(6770)0080 FAX06(6770)0707

●発行日 2015年1月1日 No.235

●定価 200円

宛先：大阪府日中(jcf@mail.infomart.or.jp)

<http://www.kaigisho.com/jcf>

題字は王个簪氏

未

あけましておめでとうございます

李庚羊年賀春



李 庚 書・画

京都造形芸術大学教授

ごあいさつ



新年おめでとうございます。
本年もよろしく願いいたします。

日中関係は昨秋の安倍首相と習主席の握手によって、ようやく緊張関係から未来へ向けての明るい扉が開かれる期待が持てるようになってきました。

本年は誠意と信頼の心を持って、根気よく互惠発展のための友好の道を一步ずつ前進して行く年であろうかと思えます。

このことは日中だけの問題ではなく、アジア、ひいては世界の平和と繁栄につながる大切な事であります。

昨年の大阪府日中にとって大きな出来事は、第14回日中友好交流会議が2日間に亘り大阪の地で両国合わせて400名が集って盛大に行なわれ、大きな成果をあげたことです。

大阪でこのような催しは初めての事であり、どうなるかと心配の連続でしたが、会員の皆様の積極的な参加と行動によって無事に立派な会議を開くことができ、これは会員の皆様の心の結束と組織の力を

会長

谷井 昭雄

発揮した結果であり、心からの感謝と共に大阪府日中の今後の運営と会員の力に大きな自信を得たことをうれしく思います。

また中秋明月祭も回を重ねて盛況の度を加えました。地元における日中の協力と交流の絆が一層深まってきた成果であります。今年からは、もっと一般の市民や団体の人々の参加によって大阪の名物になる程の発展を目指したいものです。

本年は、しばらく途絶えていました大阪の友好都市である上海への訪問団の派遣も、ぜひ実施したいと思っています。

そしてまた、“隗より始めよ”の言葉があるように、大阪府日中は地元の多くの団体、組織や、より広く市民の皆さんとの関係を深め、会員の増強と会員の幅を広げる努力・活動に力を注ぎたいと思います。

また華僑総会はじめ地元で活躍の中国人の方々や留学生の人々との交流も深めて行きたいと思えます。

会員の皆さん、本年も元気で仲良く明るく、共に意義ある年にすべくがんばりましょう。

謹賀新年

<p>大阪華僑総会</p> <p>会長 劉中耀</p> <p>理監事 一同</p> <p>大阪市西区靱本町三丁目九番十八号 電話 (〇六) 六四四八一〇五四一</p>	<p>一般社団法人日中経済貿易センター</p> <p>名誉会長 谷井昭雄</p> <p>代表理事 村山敦</p> <p>〒541-0056 大阪市中央区久太郎町四一―一三 大阪センタービル2F TEL 06 4704 1251</p>	<p>執行委員長 上谷高正</p>	<p>公明党</p> <p>大阪府本部 www.komei-osaka.jp</p> <p>〒550-0013 大阪市西区新町4-10-4</p> <p>☎ 06-6532-7071</p> <p>☎ 06-6532-7055</p>	<p>NPO法人 大阪太極拳協会</p> <p>会長 川大薮二雄</p> <p>理事長 崎雅雄</p> <p>〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島三―一四―二四 大阪武術太極拳トレーニングセンター 電話 (〇六) 六四七八一三〇〇三</p>
---	---	-------------------	---	--

2015年 友好の高まりをめざして

大阪府知事

松井 一郎



新年あけましておめでとうございます。大阪府日本中国友好協会の皆様におかれましては、清々しく新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

貴協会は、1950年の創立以来、本年で65周年を迎えられます。日本と中国との相互理解と友好のためにこれまで貴協会が残してこられた数多くの大きな足跡に思いを致し、心より敬意と感謝の意を表します。

さて、昨年、貴協会におかれましては、大阪で初めて開催された「日中友好交流会議」を成功に導かれました。近年、日本と中国との関係は必ずしも円満であるとは言えない状況にあります。そのような中で開催された本会議は、相互理解を深める対話の場として大変意義深いものであり、長きにわたる日中友好の歴史においてとりわけ重要な一ページが書き加えられたものと存じます。本年も、貴協会が大阪と中国の友好関係において重要な役割を担われることを大いに期待申し上げます。

大阪府におきましては、本年、上海市や江蘇省との交流が35周年を迎えます。昨年のAPEC首脳会議などにおいて、日中間に前向きな機運が生まれつつある中、民間や地方自治体により培ってきた友好の絆を深めるために、貴協会と連携しながら文化、経済など様々な分野における交流促進に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、大阪府日本中国友好協会の今後ますますのご発展と本年が会員の皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。


大阪市長

橋下 徹



皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

大阪府日本中国友好協会が、長年にわたり日中両国の友好交流と相互理解の進展に寄与する各種事業を積極的に推進され、今日まで大きな成果をあげておられることは誠に意義深く、皆様方の熱意とご尽力に深く敬意を表します。

<p>中国国家観光局 大阪駐在事務所</p> <p>〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 電話 ○六一六六三三二八〇 FAX ○六一六六三三二八〇 OCATビル4F</p> <p>“麗しい中国”2015年中国シルクロード観光年” ↳新シルクロード、新観光、新体験”</p> <p>http://www.cnta-osaka.jp/</p>	<p></p> <p>社団法人 大阪府鍼灸師会</p> <p>〒530-0037 大阪府北区松ヶ枝町六-1 電話 (〇六) 六三五一-四八〇三</p>	<p>パナソニック株式会社</p> <p>〒571-8501 大阪府門真市大字門真二〇〇六 電話 ○六一六九〇八一-二二二一</p>	<p>自動車部品輸出入 ジャパンパーツサービス(株)</p> <p>代表取締役会長 石田 修 執行役員営業本部長 福岡 浩之</p> <p>〒541-0063 大阪市中央区本町二丁目三番九号 JPS本町ビルディング7階 TEL (〇六) 六二五-九三六八 FAX (〇六) 六二五-九三六九 E-MAIL: info@jps-osaka.co.jp</p>	<p>烟台汉都金屬制造有限公司(山東省) 株式会社 ダイドーハント</p> <p>代表取締役 肌勢 勝彦</p> <p>大阪市中央区西心斎橋一-五-15 アイパシビルD心斎橋11F TEL (〇六) 六二七-一三四七五</p>
---	--	--	---	--

昨年、中華人民共和国建国65周年、並びに大阪市と上海市の友好都市提携40周年という節目の年でありました。これを記念し、提携日である4月18日に大阪市役所において、40年の歩みを振り返る「日中友好交流写真展」を大阪華僑総会並びに貴協会の共催により開催いただき、以降10月まで市内各所で展示され、日本と中国、大阪と上海の交流の歴史について、改めて認識いただく絶好の機会となりました。

9月には40周年を記念して本市職員を上海に派遣し、各種記念行事やセミナー等を開催することで、大阪と上海の交流を深めることができたことに加え、「第14回日中友好交流会議」が大阪で開催され、過去最大規模となる日中双方400名を超える人々が集い、日中友好交流の深化を願う「大阪宣言」が採択されたことは、30年以上続く交流会議史上初めてのことで、誠に意義深く感じております。

さらに10月には史跡難波宮跡で「中秋明月祭大阪2014」を同実行委員会及び在大阪中国総領事館と共催することで、大阪市民が中国文化に親しみ、日中友好の輪を広げるとともに、震災復興支援の募金や「日中友好交流写真展」を通して、日本と中国、大阪と上海の絆の強さを多くの方に実感していただけたものと考えております。

そのほかにも、大阪市では中国各都市からの訪問団を受け入れ、様々な分野で可能な限り交流を深めて参りましたが、日中首脳会談が実現し、日中関係の改善に向けた意見の一致をみたことで、これまで

以上に都市と都市、市民と市民が緊密に連携し、信頼関係を深めることが大切であると感じています。

新しい年は、日本・大阪と中国の交流が幅広い分野で一段と進み、相互理解・友好関係が深まるとともに、両国における経済の振興、活性化に繋がることを期待しております。

最後に、大阪府日本中国友好協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。

中華人民共和国
駐大阪総領事

劉 毅 仁



祝 辞

新年を迎えるにあたり、中国駐大阪総領事館を代表し、谷井昭雄会長をはじめ大阪府日中友好協会の皆様に新春のお慶びとお祝いを申し上げます。

ここ二年来、中日関係は歴史認識と領土問題を巡り国交正常化以来最も厳しい局面に陥り、関連の事実関係と是非が明らかなものであります。両国の諸先輩の政治家の間で達せられた共通認識が深刻な挑戦にさらされ、両国関係の政治基礎が大いに揺さぶられているわけであります。これは両国国民の利益

ホテルニューオータニ大阪

総支配人 細山雅利

大阪市中央区城見一丁目四一
TEL 〇六六九四一一二二二(代)

株式会社 ロイヤルホテル

代表取締役社長 川崎 亨

〒530-0005 大阪市北区中之島五丁目三六八
電話(〇六六四四八一一二二二)

株式会社 日中語学センター

中国語を学ぶ大阪中国語学院
日本語を学ぶ日中語学専門学院を運営しています。

学院長 青木俊一郎
代表取締役 大藪 二朗

3月に移転します。電話・Eメールは変わらず
TEL:06-6353-2442 URL: <http://www.jcjp/>

学校法人 天満学園

太成学院 大学
太成学院 大学 高等学校
太成学院 天満幼稚園
太成学院 大学 歯科衛生専門学校

理事長 足立裕亮
〒587-8555 大阪府堺市美原区平尾一〇六〇番一
電話(〇七二)三六三三六三三

<http://www.tgu.ac.jp>

西日本貿易株式会社

本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町四丁目四一〇
KDX小林道修町ビル八階
電話(〇六)六二〇三二五七三二(代)

には背くものであり、アジア地域と世界の安定と繁栄にも合致しないものであります。このような難局を打破するため、中日双方は幾度努力を重ねたもとで、2014年11月7日に両国関係の処理と改善に関する四つの原則的共通認識を達成し、両国首脳間の会見も北京APECの場で実現して、両国関係の改善と発展に方向と目標を定めました。今後、最も肝心なのは四つの原則的共通認識が確実に遵守され、実行に移され、両国関係の改善と発展に積極的な要素を積み重ねていくことであります。

民間交流は中日関係の優良伝統であり、堅実基盤であります。大阪府日中友好協会は、冷え込んだ両国関係の逆風に怯えず、日中友好の旗を高々に掲げ、「第14回日中友好交流会議」の主催をはじめ、文化、教育、体育、青少年交流など各分野において様々な友好交流事業を展開して、両国関係の改善のため積極的に環境作りを行いました。新年号を借りて、皆様方に敬意を表したいと申し上げます。中国の諺がいわく「百里を行く者は九十里を半ばとする」。今後も両国関係改善のチャンスを大事にし、引き続き「民をもって官を促す」という精神を踏えて、両国関係の政治基礎をしっかりと守り、日中友好運動をより一層活発に展開させ、両国関係が一日も早く健康かつ安定な発展軌道に戻るため更なる貢献をなさるよう切望しております。

結びに、大阪府日中友好協会の益々のご発展と会員皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

一般社団法人日中経済貿易センター
代表理事会長



村山 敦

大阪府日中友好協会の皆様
あけましておめでとうございます。

昨年度は第14回目の日中友好交流会議を初めて大阪で開催し、130名に及ぶ中日友好協会の本部と17省からなる代表団をお迎えすることが出来ました。大阪府を初めとする100の友好協会ら230名の会員が参加され、盛大且つ内容の濃い有意義な大会となりました。

特に、日中双方の友好協会が共同で「大阪宣言」を高らかに宣言されたことは今回の会合の成果を象徴しています。こうした草の根の活動が日中関係の改善に寄与することを期待します。中国側の参加者からも「大阪へ来て良かった」という声が多数聞かれました。

準備委員会を中心にご関係して頂いた会員各位のご尽力に心より敬意を表します。

私共日中経済貿易センターも創立60周年を迎え、9月中旬に北京市と上海市を訪問する代表団と派遣し、11月13日の記念日には会員の皆様方と共に、記念式典を催し、諸先輩や会員の皆様に感謝し、60年史を発行することができました。

ご婚礼 ご宴会 レストラン

TAIKO-EN
太閤園

お問い合わせ・ご予約
(06) 6356-1111
〒534-0026
大阪市都島区網島町9-10
<http://www.taiko-en.com>

中国ならANA
関西国際空港から
6都市へネットワーク

●就航都市
北京・上海・大連・青島
杭州・香港

ANA

ご予約お問い合わせは
ゼンネックウ
0570-029-333
(全国一律料金)

おかげさまで51年

日中平和観光(株) 大阪支店

〒541-0046 大阪市中央区平野町三丁目四番一四号
大阪TKビル
TEL 06-6161-0101 0101-0101
<http://www.nichu.co.jp>

☆日中同時刻表(フライング)中 担当 菊池

中国料理
錦城閣

〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町一丁目
大阪キャッスルホテル3F
TEL (06) 6941-1128 1128-1128

株式会社 徐園

代表取締役社長 徐 東 生
代表取締役副社長 徐 秀 生

大阪市西区江戸堀一丁目一五番三〇号
電話 (06) 64481526 2634

世界第2位の経済大国である中国は、GDP 7%前後の中位高度経済成長を新常态(ニューノーマル)としてマクロエコノミーを調整し、都市化による格差是正や腐敗撲滅を初めとする「法治」社会の建設に取り組んでいます。

2022年には小康社会の実現と、中国共産党設立100年の2つの目標を掲げて「中国の夢」を果たすことに挑戦しようとしています。

そうした環境の中で、私共日中経済貿易センターは還暦を迎え、「経済貿易の発展に貢献する」という志を新たにし、再スタートを切ってまいります。

本年は未(ひつじ)年であります。羊は古来人類に愛されている動物であり、羊を使った漢字でも「美」「善」「義」というような良い意味に使われる場合が多く、揺れ動く世界情勢の中で私共の仕事が「飛翔」出来るよう、官民一体となって頑張ってみましょう。

上海市人民对外友好協会
副会長

周 亜 軍



2015年新春にあたり、上海市人民对外友好協会を代表して、「大阪と中国」新年号を通じて大阪府日中友好協会の友人の皆さん、各界の友好人士の皆さんに、新年の祝福とご挨拶を申し上げます。祝大家新年快乐!

貴会は創立60余年来、中日両国人民、とくに上海と大阪の両地の間での民間友好交流の促進に重要な貢献をされてきました。当会と協力し合い、経済、文化、教育、青年等多くの分野で、豊富多彩で著しい成果を挙げた交流を展開されてきました。ここに、謹んで熱烈な祝賀と心からの謝意を申し上げます。

上海市人民对外友好協会は、大阪府日中友好協会の皆さまとともに、中日間の4つの政治文書がはっきりと定めた各項の原則に基づき、歴史を鑑とし、未来に目を向ける精神で、政治的な障碍を乗り越え、互惠関係を推進し、両地における民間友好交流と協力を更に一歩拡大し深化させ、世界平和を守り、両国関係を前進させるために努力します。

旧年に別れを告げ、新年を迎えるに当たり、私は心より皆さまのご家族揃ってのご多幸と万事如意をお祈りし、上海と大阪の未来が更に素晴らしいものになることを衷心より願っております。

大阪華僑総会
会長

劉 中 耀



新年あけましておめでとうございます。

ここ数年中国政府と日本政府との関係は国交正常

日根野公認会計士事務所

公認会計士
税理士 日根野 文 三

〒540-0024 大阪市中央区南新町二丁目三丁目七番三十四号

TEL (06) 6942-1177
FAX (06) 6942-1177

Culture & Communication

株式会社
国際印刷出版研究所

〒551-0002 大阪市大正区三軒家東三丁目十一番三十四号
TEL 06-6655-2884
FAX 06-6655-2884

2015年 日中新春互礼会 ご案内

- 日 時：1月15日(木) 14:00~15:30
- と ころ：ホテルニューオータニ大阪
2階「鳳凰の間」
大阪市中央区城見1-4-1
Tel 06-6941-1111
- 会 費：5,000円 (当日申し受けます)
- 主 催：NPO法人 大阪府日本中国友好協会
一般社団法人 日中経済貿易センター

化以来きわめて厳しい状況におかれています。

昨年11月北京で開かれたAPECの会合で習近平主席と安倍首相の面談が行われたが、このことで一挙に両国間の厳しい状況が一挙に解決するのではという「甘い期待」を抱く向きもあったが、双方が「異なる主張がある」ことを共通認識として対話、協議を通じて情勢の悪化を防ぎ、危機管理コントロールの仕組みを作って、不測の事態を避けることには合意した。

このことは中日両国の関係の発展基盤は従前からの4つの政治文書の諸原則と精神を尊重することは今のどん底から抜け出そうとすることが共通認識として確認された意義は大きい。

政府間の関係は引き続き困難な状況から一気に解決できるとは考えられないが、私たち大阪華僑総会とNPO法人大阪府日中友好協会との関係は毎年開かれている「中秋明月祭」の活動を通じて年々その

友好関係は発展してきています。

日本政府の「無謀な島の購入問題」が発生して、一部では「明月祭の中止か」という声が上がった時谷井昭雄会長がいちはやく「こういう時こそ民をもって官を促すという精神で我々が協力して盛大に開催しよう」とおっしゃられたことは華僑総会実行委員会のメンバーには大きな励みになりました。以来この協力関係は引き続き強化されてきています。

昨年は第14回中日友好交流会議が大阪で開催され、両国の代表が合計400名近くも参加され交流を深められ、「民から官へ」だけでなく「地方から中央へ」友好の輪が広げられることが確認された。このことは、われわれ大阪華僑総会にとっても大きな指針となり、励みとしてゆかなければと考えています。

今後もお互いに四つの政治文書の精神を尊重して、引き続き協力を進めてゆくことを表明して、新年のあいさつと致します。

**General
Packaging
Industry**

**イノベーションで
包装を超える。**

レンゴーは、
板紙・段ボール・紙器・軟包装・重包装・海外の
6つのコア事業を中心として、
パッケージングの未来を創造してまいります。

GPI
ゼネラル・パッケージング・インダストリー

レンゴー株式会社

本社 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー TEL.06-6223-2371
東京本社 〒108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー TEL.03-6716-7300

草の根 しっかり 固めよう

再スタートの年の幕開け…

池田市日本中国友好協会
会長 倉田 薫



新年明けましておめでとうございます。

国と国との関係が厳しい中、昨年9月に大阪で開催された「日中友好交流会議」は谷井会長をはじめとする関係者の皆さんのご努力、ご尽力のおかげで大成功でした。関係各位のご努力に改めて御礼を申し上げます。

年末の総選挙の結果、国民の信任を得た安倍政権は中国をはじめとする諸外国からも改めて長期安定政権としての評価を受けるものと期待いたしております。

日本と中国の関係も今年は環境・文化・観光・経済等々幅広い分野で日中の交流が活発化していくことでしょう。

「民をもって官を促す」民間交流の変わることはない継続、実践の友好交流活動が今年はよりスムーズに展開されることでしょう。そして、私達日中友好協会傘下の各地区協会による友好交流事業が今年はより幅広く実施されているものと思われま

す。私達池田市日中友好協会も昨年11月には蘇州市に於いて開催された日中韓の囲碁交流会に参加、そして12月の31日は恒例の「寒山寺除夜の鐘イベント」にも参加し、友好都市蘇州市との交流事業を積極的に行って参りました。

今年も故藤尾昭池田市日中友好協会名誉会長のご遺志を旨に微力ながらがんばらせていただきたいと思います。

今年が日中友好交流のさらなる深まりを目指した再スタートの年となることを願ってやみません。皆さん、共々にがんばりましょう。

協会設立35周年を迎えます

八尾市日本中国友好協会
会長 田中 順治



新年明けましておめでとうございます。

本年は、当協会設立35周年という記念すべき年を迎えます。

ちょうど36年前、経済交流を目的に「第一次八尾市民各界日中友好訪問団」を結団して中国各地を訪問し、各都市の人民政府をはじめ、多くの人民から熱烈歓迎を受け、その思いを後世に引き継ぐため、翌年、八尾市日本中国友好協会を設立いたしました。

その後、大阪府知事の紹介により上海市嘉定区と交流する中で、八尾市が上海市嘉定区と世界平和のために子々孫々まで両市区民が、「経済、文化、教育、医療、芸術、スポーツ等」あらゆる交流を行うことを目的とした「友好都市議定書」に調印するまでの橋渡し役を務めてまいりました。

友好都市締結後は、市当局はもとより当協会も訪中団を結成し、文化・スポーツ等をはじめ数多くの交流事業を行ってきました。

さて昨年、「新たな高まりを」をテーマとして大阪で開催されました「第14回日中友好交流会議」が成功裡に終了し、大会に参加した友好都市の代表団と交流する中で、私は日中関係の雪解けを感じつつ、北京でのAPEC開催時の日中首脳会談で雪解けが本物となってきたと確信いたしました。

八尾市と上海市嘉定区の友好・交流は不滅であり、10月には青少年交流団、11月には劉海濤党書記を団長とする、幹部訪問団が来市するなど当協会にとっても多忙な一年となりました。

私はこれを契機に、より一層「身近な国、身近な都市」として、友好の絆が世々代々にわたり綿々と続けていくために、今後は青少年交流を強化していきたいと考えています。

どうか本年も、私たちの活動がスムーズに、かつ効果的に遂行できますよう、八尾市並びに大阪府日中友好協会をはじめ関係諸団体各位のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

交流会議の成果を踏まえ 一歩二歩と前進を

高槻市日本中国友好協会
会長 奥本 務



明けましておめでとうございます。

昨年は、日中の友好交流にとって喜ばしい明るい出来事がありました。一つは大阪府日中が主管した第14回日中友好交流会議の成功です。日中双方から「国民間の相互理解の増進」「中日友好の旗印を断固として高く掲げること」など民間交流の意義と役割が基調報告され、「大阪宣言」では『相互に温かく、思いやりのある友好交流ができる新しい局面を作り出す決意』が述べられました。

二つは、日中首脳会談が2年半ぶりに行なわれ、関係改善に向け、ともに一歩を踏み出す方針が確認されたことです。「雨のち曇り」で「晴れ」とまではいきませんが、停滞している関係を改善加速させる可能性が開けてきたといえます。民間交流推進への波及を願わずにはられません。

当協会のビッグニュースは、友好都市・常州市から陶欣氏の訪問が実現したことです。高槻市長への表敬訪問のほか、市立養護老人ホームや府立槻の木高校、市内の(株)明治大阪工場を視察し、日程を合わせて開催の「第16回日中友好ビアパーティー」に参加してもらい、多くの会員らと和やかに、そして賑やかな雰囲気の中で交流することができました。陶氏からは離日に当って常州市訪問の要請があり、これに応じて会員の訪中が実現すれば、当協会だけにとどまらず、友好都市間の交流再開の扉を開く原動力になることが期待されます。このことも陶氏が参加した「日中友好交流会議」の成果の一つであると理解しています。

今年こそは、辛抱強く積み重ねられた交流事業の経験を踏まえて、当協会の運営が一歩も二歩も前進し発展するよう願っています。府日中をはじめ各地区協会、関係各位のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

熊取町日中は設立20周年を 迎えます

熊取町日本中国友好協会
会長 林 雅清



皆様あけましておめでとうございます。日中関係にも改善の光が射し始めた新春を寿ぎ、お慶びの言葉を申し上げます。

昨秋、ここ大阪で第14回日中友好交流会議が開催され、「争えば共に傷つき、和すれば共に栄える」と謳われた「大阪宣言」が採択されましたが、「民間交流の新たな高まりを！」というテーマを掲げた今回の日中友好交流会議は、約2年半振りとなる日中首脳会談に先立って開催され、かつ「大成功」を収めました。このことは、日中間における民間交流の必要性と重要性を如実に物語っていると思います。その「大阪宣言」の朗読という大役を任されたことを改めて誇りに感じると同時に、「大阪宣言」に基づく友好交流が様々な形で現実化され、延いては日中関係全体の更なる改善に結びつくことを切に願っております。もちろん、ただ願うだけではなく、熊取町日中友好協会でも、様々な交流行事や講演会などを通じて、引き続き文化交流を中心とした日中民間交流事業を推し進めていく所存です。

さて、熊取町日中友好協会は、今年で設立20周年を迎えます。後掲の「地区協会NEWS」でもご案内しておりますが、本会では来る7月12日の午後、「熊取交流センター煉瓦館」にて設立20周年記念式典を執り行います。詳細は現在調整中ですが、目下記念講演会と祝賀懇親会を予定しております。大阪府日中と府下の各地区協会の皆様には、詳細が決まり次第改めてご案内いたしますが、当日は是非熊取に足をお運びいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう、そして日中関係により多くの光が射し込み、明るい一年となりますよう、心より祈念申し上げます。

奉仕・感謝・思いやりの心で 日中友好!!

枚方市日本中国友好協会
会長 山中 卓



明けましておめでとうございます。

皆様方には心新たに前を向き、今年が良い年にしたいと願っておられることと思います。その実現を心から祈念いたします。

昨年大阪での日中友好交流会議に参加し、友好交流事業の意義・必要性を再認識させられ、それへの気持ちが高まった矢先、領域進入サンゴ漁事件でふくらんだ気持ちがしぼんでしまいました。再びモヤモヤ感情が高まってきました。こんな時、日中両首脳会談が行われ、なんとなく行く手に一途の光が……開運のきざしがと期待しています。

友好交流関係は互いの信頼で成り立っています。互いの利益・発展を期し、その成果によるものです。日本は中国を、中国は日本を必要とし、尊敬の念でつき合ってこそ輝きます。感謝と思いやりの心なくしては成り立ちません。

枚方市日中では「奉仕・感謝・思いやり」の心を軸にして活動中です。本年も予定事業は変更せず……、但しその中身に変化をつけ、重点事業として次の事業の成功をもくろんでいます。

第4回仲秋名月交流会です。関西外国語大学との共催で、中国からの新留学生を温かく迎えることにポイントを置き、先輩留学生の参加も募り、日本流の仲秋名月を愛でることはもちろんですが、この会の目的は他にもあります。本会会員に枚方市民も加わる交流会にし、一大イベントとして盛り上げることに夢もっています。留学生諸君には日本人の心意気に触れてもらい、日本の文化・風習に触れて枚方の住民になり「ヒラカタライフ」を楽しんでもらうきっかけに。一方枚方市民には若い中国人との触れあいを楽しみ、中国文化の吸収に興味を持つように。こんな雰囲気の中から日中友好親善の輪が広がり、日中友好の絆が強まってくるはずです。

次に研修会の充実です。一般市民にも呼びかけ、回数よりも内容を重視、「中国を知る」事業にますま

すの磨きをかけたく思います。

この一年、この夢をこわさず精進したいものです。枚方市日中へのご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

「和則両利、斗則俱損」 をかみしめて

堺日本中国友好協会
会長 曾我部篤爾



新年快樂!!

平成27年末年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は午年で、私の当たり年でしたが、全国的な日中交流会議が大阪で開催されるなど我々にとって輝かしい年になる筈が、日中の国家間の関係は、氷河期と言われるくらいの厳しい一年でした。

9月に中之島で開催されたその会議の「大阪宣言」の中にあつた「和則両利、斗則俱損」という言葉は、政治体制の異なる国同志の両国民にとって忘れてはならない言葉だと思っています。

お互いの違いを理解しあつて、可能な友好の道を見出して前へ進むことこそ、お互いの国民の幸福につながるのではないのでしょうか。

今年は、そんな一年になれば、と願っています。

上海市浦東新区と吹田市の 友好提携実現を目指します

吹田市日本中国友好協会
会長 高津 昇



新年あけましておめでとうございます。昨年中は当会活動に、一方ならぬご支援を頂き深く感謝申し上げます。

吹田日中では、本年も昨年同様、三本の基本的活動方針を掲げ、会員一同活発な活動に取り組む姿勢を整えております。

1. 民間友好交流 1. 留学生支援活動 1. 友好訪中活動 であります。

特に上海市浦東新区とは、万国博覧会開催地とい

う共通点を持っていますので、この点を結縁として、上海万博開幕以前から浦東新区、吹田市の友好交流提携実現に双方が努力を積み重ねてきました。しかし、残念なことに実現直前、両国間に冷たい関係が起り停滞状況となりました。今年は改めて、民の力で官を促し、提携の実現を目指します。

留学生支援、一泊研修では新しいイベント、キャンプファイヤーを組み入れ大好評となりました。13名が参加した訪中活動では西域蘭州を訪れ、蘭州吹田友人之家を設立してきました。

この成功を受け、今年は故人となった高倉健さんの名画“単騎、千里を走る”のロケ地、雲南省麗江の東河村訪問を企画し、同時に上海市浦東区も訪ねます。

本年は更に稔りの多い年となります様、努力を致す所存です。関係各位の皆様には、変わらぬご支援、ご理解をお願い申し上げます。

新年快樂 万事如事！

近隣の協会とも 協力しあって

岸和田市日本中国友好協会
会長 武井 俊成



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2014年度の活動の中心として行ってきたことはたとえ少人数でも、会員同士が膝をつきあわせて自由に意見交換ができる場づくりと、岸和田市と近隣地域に住んでおられる中国の人々との交流交歓を通して、お互いが理解しあえるように努めることを主眼とした活動を継続してまいりましたが、会全体としてどこまで浸透したかは難しいところです。

私たち民間団体として市民レベルでの友好交流を深めていかねばならないわけですが、私自身も今まで岸和田日中以外の外部活動にほとんど参加させていただけていない状況でしたが、昨年からは大阪府日中友好協会始め他の地区の活動に積極的に参加させて頂き、勉強に努めると共に吸収できるものは少しでも岸和田で生かしていけたらと考え活動してまいりました。また泉州地域の四地区協会の会合に参加させていただき近隣の協会が協力して活動の輪を広げていく必要も感じました。

今年度は昨年の活動内容を少しでも深く掘り下げられるような活動を目指したいと思います。今年度もどうかよろしく願いいたします。

メディアも取り上げる日中友好 交流事業で友人の輪を広げよう

豊中市日本中国友好協会
会長 田中 潤治



新年あけましておめでとうございます。

昨年は豊中市日中友好協会創立15周年の節目にあたり無我夢中で多くの事業に取り組み、日中友好交流のありかたを探求しながら、どのような活動が日本と中国の相互理解に繋がり効果を上げるかを学ぶ良い機会となりました。

15周年記念事業では、上海魯迅記念館、上海対外友好協会との共同主催にすることにより情報価値を上げ、報道機関への情報提供を容易にいたしました。

そして、両国の国民に困難な時にこそ日中友好の民間交流を広げて行こうと呼びかけ、一羽のハトを通して友情を深めた魯迅と西村真琴について学びませんかと報道機関に連絡したことから記事となり、数多くの方々に参加して頂きました。またメディアを通して魯迅と西村真琴との秘めたる友情の話を多くの方々に伝えることが出来ました。新聞に掲載された記事内容が中国のホームページを開ければ何時でも詳細に見ることが出来る効果は多大です。

中国との友好交流を推進する上で真の友人との出会いが大切です。尖閣諸島問題が起きた2012年秋から急激に冷え込んだ日中ですが、それでも三義塚への中国からの訪問者は増えています。最近では上海魯迅記念館の副館長他3名、魯迅研究者王先生他2名、上海道教協会の会長、副会長、紹興周恩来記念館館長と副館長などの訪問を受けました。魯迅が日本留学中日本人民の友好的な態度に接し、特に藤野先生はじめ多くの知識人から人格、思想に至る多岐にわたり教えを受けた事で世界的な視野と大きな度量を備える事ができ、新しい時代に適応した知識人に成長することが出来たのです。日本留学は、彼の生涯に絶大な影響をもたらしました。

両国が万代に渡り友好であり続けるためには、魯

迅と同じく様々な困難を乗り越えながら倦まず弛まず努力を続け、中日友好に力を尽くさなければならぬと王先生は話されました。

また、訪日の皆さんは歴史問題があるからといって日本を知ろうとするのを止める理由にはならないと言ひ、普通の日本人を知り友情を深めたいと希望していました。国家間ではどうにもならない時にこそ、民間交流が大切です。日中友好協会は中国への道を開き、国民の皆様とともに草の根の民間交流を行い多くの友人を作れるよう、今年こそ努力すべきと考えています。皆様のご支援をお願いいたします。

互いを知り、知らせる 草の根交流を

阪南市日本中国友好協会
会長 中務 武志



昨秋、曲がりなりにも日中首脳会談が実現しました。しかし、あの握手映像に象徴されるように本格的な関係修復はまだまだ遠いと思わざるを得ません。さらに嫌・反中、嫌・反日感情がともに90%を超えるという現状。マスコミの影響によるところが大きいとはいえ、その根は深いと思わされます。

そんな中で私たちにできること、やらねばならないことは何だろうと考えると、やはり小さい力であっても地道に草の根交流を進めることでしょう。

当協会の場合、蘇州市呉中区とは1993年以来青少年交流を中心に密接な交流を続けてきた実績があります。太湖を望む塔山公園には私たちが寄贈した500本の八重桜が繁る「中日友誼桜花林」があります。ここ数年訪れていず、桜花林を見たことのない会員もいますので、4月の開花時に訪れて満開の桜を鑑賞するとともに、今後の青少年交流、文化交流について協議する計画でいます。

また、これまでは国際交流にあまり積極的な取組みが見られなかった当市ですが、このところ前向きな姿勢が見えてきました。この機をとらえて活動のより活性化と当協会の存在の周知を図るため、4月の訪中には一般市民の参加を呼びかけるつもりです。

もちろん、春節、中秋節などでの地域の中国人との交流行事もさらに充実させたいと思っています。

皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

地域に定着した 友好交流活動を推進

大阪三島日本中国友好協会
会長代行 小林 貞夫



新年明けましておめでとうございます。2015年は金羊年で、穏やかに日中友好が進展することを強く期待します。本年も三島地区（茨木市、摂津市）での日中友好活動を役員一同進めていきます。当協会は、府下14番目の地区協として設立され今年で4年目を迎えます。

大友康亘会長が2013年7月に緊急入院され、以来リハビリに努めておられますが、車椅子が必要となっており、お元気ではありますが公的な場へはご遠慮されています。一日も早く元気なお顔と声を聴かせて頂きたいと思っています。

さて、昨年は、6月8日に第4回総会を開催し、出席予定であった大友会長が残念ながら急に欠席となり、メッセージを託され、今後も会長職にとどまる決意を披露されました。「お父さんお母さんの手作り餃子を楽しむ会」も開催し、講師の曾麗紅さん（河北省唐山市出身）から中国家庭料理餃子づくりの手ほどきをうけ、摂津市民など21名が楽しみました。

9月に大阪で開催された「日中友好交流会議」では、中国、日本の参加者と友好と交流を深め、「民をもって官を促す」実践の場として、大変意義ある活動に参加できたことを誇りに思います。

また、2014明月祭では辻紫岳文化担当理事を中心に「書道吟と歌謡吟」による出演、北摂5地協ブースでの「中国茶」等の販売で、3年連続黒字化を達成しました。

11月には、「2014年日中友好青少年書画展」を開催。長尾文化担当理事を中心に、今年は絵画で一般の方の賛助出展もあり、受賞者、家族で表彰式は大変な賑わいとなり、大きな成果を得ました。

今年も、「手作り餃子を楽しむ会」「中国銘酒とお茶を楽しむ会」「日中友好青少年書画展」などを開催し、地域に密着した日中友好交流活動を進めます。併せて、茨木市・摂津市で活動されているNPO、市民との交流、在住中国人留学生、中国の方々との

交流をめざします。どうぞこれからも府下各地区協会の皆様、府日中の皆様の変わらぬご指導ご鞭撻を宜しく願います。共に頑張りましょう！

一衣帯水



河内長野市日本中国友好協会
会長 大原 一郎

私は北京駐在の経験と地元中国朋友皆さんとの交流のおかげで今後日中友好がさらに深まることにより両国の人民にもたらされる恩恵は計り知れないと素直に感じる一人です。

政府間には様々な思惑や駆け引きが存在するので違いを際立たせようとしがちですが、一般民衆は日中両国の経済的つながりが深まることを望んでいます。その証拠に両国の貿易額は40年前と比べ約300倍に増え、日本を訪れる中国人観光客（留学生なども含む）は、年間100万人を突破し、彼らの旺盛な購買力が両国経済に大きく貢献し始めています。

そして中国各地には日本語を学ぶ学生が約90万人いて、彼らを対象に日本の経済や文化、庶民の暮らしに実際に親しむ機会が提供され始めています。日中両国の報道機関も政治的駆け引きや違いばかりを大きく報じるのではなく両国人民に恩恵をもたらす実際の経済的結びつきを報道すべきです。

中国と日本は『一衣帯水』の国同士です。

双方が協力することで未来は大きく開けます。

“地域交流を大切に”



松原市日本中国友好協会
会長 牛浜 龍男

新年明けましておめでとうございます。

今年、松原市日中友好協会は設立20周年を迎えます。設立時からの色々な交流活動を通して多くの方々との交流が出来た事は、とても有り難いことだと考えております。

そうした中で当地松原市でも中国人の方が数多く

暮らしておられますが、思うほど簡単に交流活動に積極的に参加する事には難しい面があります。生活の中に少しでも参加しやすい地域交流会の場を創り、ご近所から知り合いや友人を増やしていく活動をより広く知らしめて無理のない交流活動を行いたい。

当協会は小さな所帯ですが、地域の市民活動団体と共に活動の輪を創って交流活動を推進していく事で異なる両国民の生活習慣や環境など交流会を通して相互理解、そして信頼関係を得る事が出来るようにして参りたいと考えます。

今年は松原市の市制施行60周年を迎え色々なイベントが開催されます。この身近な地域市民活動に参加して人的・文化的な交流の幅を広げたいと望んでおります。

松原市日中友好協会では2015年新春から野外活動として神戸南京街の散策や春節祭にちなんで料理交流会や設立20周年記念事業を計画しております。ぜひご参加下さい。

最後に皆様にとって今年がより実り多き一年になりますように心よりお祈り申し上げます。 感謝

新年のごあいさつ



藤井寺市日本中国友好協会
会長 井関 功

あけましておめでとうございます。

皆様には気持ちも新たに素晴らしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年の日本と中国両国では、中国の経済成長率の増加により、経済関係は深まりましたが、領土問題、歴史認識問題や環境問題など、両国の国民感情は必ずしも良好とは言えないことから、実利主義的な価値観に基づかない民間交流の重要性を感じております。

現在の国際社会では、両国の『相互理解』なくして、相互の発展はありえないと思っております。

今後も、関係団体皆様の方のご指導を受けながら、草の根の交流を中心に、真の相互親睦のため、充実した事業活動を目指して参ります。

最後になりましたが、貴会の益々のご発展と皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして年頭の挨拶とさせていただきます。

友 交 流 レポ ー ト

「大阪—上海 友好40年のあゆみ」展 上海で開催

昨年4月から大阪市内4か所で開催してきた、「大阪—上海友好都市提携40周年記念写真展」が「大阪—上海 友好40年のあゆみ」展として、9月13日～17日まで上海の高島屋2階ギャラリーで開催された。

上海での開催にあたり、当協会は、大阪華僑総会、日中経済貿易センター、大阪府市上海事務所などと実行委員会を構成した。

13日の開幕式では、劉中耀・大阪華僑総会会長、土橋ひとみ・大阪市経済戦略局交流推進担当部長、矢野辰雄・上海高島屋百貨店有限公司総経理、大阪府上海事務所・上山所長、日中経済貿易センター上



海事務所・小林所長、上海商禾投資管理有限公司・張総経理、上海観光親善大使・本堂重紀さんら7人によってテーブルカットが行われ、盛大に開幕した。

開催期間中には上海市民や在上海の日本の方など多くの人々が訪れ、上海と大阪の40年にわたる交流の歴史の数々を、写真パネルを通じて民間レベルでの相互理解を深め合い、17日無事成功裡に閉幕した。

第14回日中友好交流会議 大阪開催 成功裡に終える

9月22日—23日、第14回日中友好交流会議が大阪で開催されました。詳細は11月1日発行の特集号でお伝えした通りです。ご協力いただいた会員・ボランティアの皆さま、関係団体、企業の方々に改めて深く御礼申し上げます。写真は9月22日の夜の懇親会場で大阪名物のたこ焼き、串揚げコーナーなどに行列ができる人気となった様子です。会場では食べ方を中国人に「伝授」される華僑の方など和やかな雰囲気の中で人と人の交流ができました。



懇親会会場にて



国慶節晩餐会を 関西在職中国人交流協会と共催

当協会と関西在職中国人交流協会は2014年4月に花見大会を初めて共催したのに続き、国慶節晩餐会も初の共催で9月28日、天王寺の楓林閣で開催した。当協会からは16名が参加し、ちょうどこの時に来日されていた上海魯迅記念館の王館長ら3名も加わった。

中国駐大阪総領事館からは張秀芬領事と趙芸領事も参加され、合計150名以上の大盛会となり多くの在職中国人の方と楽しい交流ができた。



9月28日 阿倍野ハルカスを見上げながら乾杯

「中秋明月祭 大阪2014」開催

府日中も主催者として参画、盛況裡に開催された

第6回目となる「中秋明月祭 大阪2014」が10月11日―12日に難波宮跡で開催された。9月開催だったこの数年は雨に祟られることが続いていたが、今回は心配された台風もスピードを緩めて、2日間とも好天に恵まれ、またブース総数も増え、多くの人で賑わった。

開幕式では主催者代表で胡士雲・実行委員長、谷井昭雄会長、共催者代表で劉毅仁総領事、村上龍一・大阪市副市長、来賓代表で小西禎一・大阪府副知事がそれぞれ挨拶をされた。

3年目となった大阪府日中合同ブースでは北摂地域地区協会、堺日中が出展をし、物販に取り組み、大いに賑わった。

ステージでは今年も大阪三島日中・紫岳会の皆さんが漢詩吟、書道吟、歌謡吟を披露したほか、中国からは大連市僑聯親情中華芸術団による多様な演目もあり、閉会前にはOSK日本歌舞団による特別公演がありプロの踊りと歌で観客を魅了した。



開幕式 テープカット



府日中合同ブースの全景（手前から府日中、堺、北摂）



堺日中のブース 堺の名産品を販売



北摂地区ブース 大勢の中国人も買い物に



大阪三島 紫岳会のみなさんが詩吟を披露



OSK日本歌舞団による特別公演

第32回全日本中国語スピーチコンテスト 大阪府大会を盛大に開催

当協会主催の第32回全日本中国語スピーチコンテスト大阪府大会を、中国駐大阪総領事館、大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、関西・大阪21世紀協会の後援を受けて10月26日(日)大阪スカウト会館3階会議室で開催した。

藤井事務局長が主催者を代表して開会の挨拶。審査員には西川和男・関西大学外国語学部教授、周堂波・中国駐大阪総領事館教育室副領事、胡士雲・四天王寺大学教授をお願いした。

エントリーは朗読部門では一般の部に9名、高校生の部に4名、大学生の部に5名、暗誦部門に2名、スピーチの部に2名の合計22名で競われた。

優勝者は朗読一般の部で佐藤節子さん、大学生の部で関西大学・平田奈那さん、暗誦の部では深澤友里恵さん、スピーチの部では神戸市外国語大学・春口昌輝さんとなった。高校生のエントリーは久しぶりとなり、特別賞として大阪市立扇町総合高校・中河夏規さんが選ばれた。

1月15日に行なわれる全国大会にはスピーチ部門の春口昌輝さんが出場することが決まった。また朗読大学生の部の平田奈那さんも決勝進出(全国大会での発表はない)となった。

ご健闘をお祈りします。

府日中女性委員会を尼崎で開催 2月に勉強会を開催します

11月6日尼崎にある都ホテルニューアルカイク内の中華料理店で、女性委員会が開かれました。

女性委員会代表の川上和さんと戸毛敏美先生を含む8名が参加しました。

あえてこの場所を選んだのは、今年2月に逝去された中田紫君さんと川上さんが、昨年末、今年の女性委員会の催しとして尼崎寺町散策の計画をたてられたからです。

はじめに、女性委員会に多大な実績を残され故中田紫君さんを偲び、思い出話を語り合いました。その後それぞれの近況報告をし、おいしいお料理を堪能しました。

戸毛先生のお話は今回だけでは学べず、また、より多くの方に学んでいただくため、来年の2月に勉強会を開催することに決定しました。会議終了後、



出場した皆さん、審査員の先生方と記念撮影



弁論の部で優勝した春口昌輝さん



女性委員会での記念撮影

駅近辺にある阪神・淡路100名所の「世界の貯金箱博物館」(2100年前中国雲南省王族の墓から出土した貯金箱がルーツである)を觀賞し、寺町散策をしました。戸毛先生講師による勉強会には皆様のご参加をお待ちしております。

女性委員会 勉強会のご案内

日時：2015年2月21日(土) 14:00~16:00

場所：大阪スカウト会館3階

テーマ：「歴史問題は13億中国人民の“感情問題”」
という意味は何か

講師：戸毛敏美先生

参加費：不要 男性の参加も大歓迎です

主催：大阪府日中女性委員会

『文化茶話会』11月開催 「日中仏教比較」大好評でした

11月15日(土)当協会主催の文化茶話会があり、講師に9月の日中友好交流会議で「大阪宣言」を読み上げられた林雅清・熊取町日中会長、京都文教短期大学ライフデザイン学科専任講師をお招きして、「日中仏教比較—お寺と僧侶の今昔—」との題で22名の参加者を集めて開催しました。

中国の思想と宗教、中国仏教の歴史と寺院など高度な内容を分かり易く、林氏が訪中した際に撮影された多数の写真で説明しながら現在の中国における仏教の状況を話され、参加者からは「目からうろこ」だった、「もっとお話を聴いていたい」など非常に好評を博しました。

「阿弥陀経」を中国語で朗々と唱え、また中国人からの質問にも中国語で答えられたのはさすがでした。



参加者からの質問に答える林講師

中国駐大阪総領事館に新たに着任された 孫忠宝副総領事らが当会を表敬訪問

総領事館では僑務を担当されておられた于淑媛副総領事のご定年で帰国され、王軍副総領事がその後を継がれました。

そして王軍副総領事の後任として中国駐大阪総領事館に新たに着任された孫忠宝・副総領事と馮帆・副領事が宋雄偉・副領事とともに当協会を11月20日(木)に表敬訪問され、当会の役員と懇談しました。



11月20日 府日中事務所にて

■ 孫忠宝副総領事のご略歴

1972年4月17日 中国遼寧省大連市生まれ

1991年—1995年 大連外国語大学

1995年—1997年 中国人民外交学会アジア部

1997年—1998年 日本東京大学文学部留学

1998年—2001年 中国人民外交学会アジア部

2001年—2005年
中華人民共和国駐大阪総領事館副領事
中華人民共和国駐日本国大使館二等書記官

2005年—2014年
中華人民共和国外交部アジア局副課長、課長



2014年10月

中華人民共和国駐大阪総領事館副総領事

■ 馮帆副領事のご略歴

1978年10月6日 中国河南省鄭州市生まれ

1997年—2001年 中国海洋大学外国語学院

2001年—2003年 河南国際合作有限公司

2003年—2006年 中国海洋大学外国語学院大学院

2006年—2014年 河南省鄭州大学外国語学院教師

2014年8月 中華人民共和国駐大阪総領事館副領事



忘年会 114人が出席して盛況

シルクロードの歌と踊りを楽しみました

12月15日、太閤園「ガーデンホール」で開催。

第1部は17:30スタート。司会からシルクロード・ローラン歌舞団、団長のジャミラ・ウライムさんと夫のニジェット・ウメルさんは2年前の「歌でつなぐ日中友好の架け橋」にも出演され、今回はジャミラさんの姪のグリージャマリーさんとニジェットさんの妹のヌリエさん（どちらも留学生）が加わっての歌舞団と紹介。最初の舞踊の後、ジャミラさんから最近何かと話題の新疆ウイグル自治区についての概要説明があり、カザフの踊りやウイグル語の歌、ジャミラさんの日本語の「異邦人」の歌などを楽しみ、最後には出席者も交えた踊りとなった。

来賓として中国駐大阪総領事館より劉毅仁総領事、王軍副総領事、孫忠宝副総領事、宋雄偉副領事、周明輝副領事の5名の方にご臨席頂きました。大阪府から府民文化部課長・中村昌也氏、間もなく大阪府上海事務所所長として赴任される吉永篤史氏、大阪華僑総会から劉中耀会長含め3名、西日本華僑華人联合会・胡士雲会長、大阪大学中国人留学生3名、交流会議でお世話になった大阪観光局・文杰さん、京都和東紅茶の杉本喜壽氏ら多数の方が出席された。

谷井会長、劉毅仁総領事の挨拶、林昭嘉副会長の乾杯の発声の後、歓談に移りました。

商品券、宿泊券、食事券や豪華多様な景品を会員の皆様から提供して頂いての抽選会では、大いに盛り上がりました。

最後に東久継さん（評議員）が撮影された中国大陸の風景と当協会名入りの日中共同カレンダーを参加者にプレゼントし、好評のうちに終了しました。



シルクロード楼蘭歌舞団による歌と踊り



ジャミラさんからウイグル自治区の紹介



大阪総領事館から劉毅仁総領事をはじめ五名の参加



谷井会長を囲んで本郷さん(右)林さん(左)田端さん(真後)ら会員との記念撮影

日中経済貿易センター

創立60周年記念式典を開催

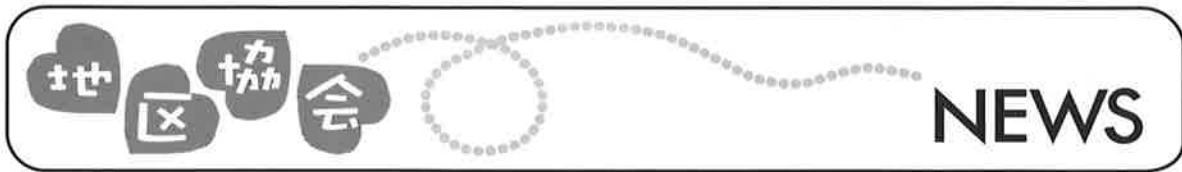
11月13日、ホテルニューオータニにて約150名が参加して日中経済貿易センター創立60周年記念式典が開催された。村山敦会長が挨拶をし、劉毅仁総領事が祝辞を述べ、大阪府商工労働部・津組修部長が松井一郎大阪府知事の祝辞を代読、乾杯の発声をし、谷井昭雄日中経済貿易センター名誉会長が中締め挨拶を行なった。

会場では60年の歴史を偲ぶ様々な品々や写真、書



記念式典会場にて

籍、刊行物などが展示された。また記念冊子「60年のあゆみ」が発行され参加者に進呈された。



池田市目次

池田市囲碁代表が団初めて 蘇州の中日韓友好都市 囲碁大会に参加

中日韓友好都市囲碁大会に、初めて池田市囲碁チームが参加した。

今回の大会は、蘇州市が2010年に友好都市に囲碁大会の開催を提唱し、すでに蘇州大会、金沢大会、韓国・全州大会と毎年開催し、その後2年して今回再び蘇州で開催されることになったものである。初参加の池田市チームは、喜多忠文団長と兵頭俊一副団長が八方手をつくし、10人の選手を集められた。元新聞記者、税理士、会社役員、友好団体役員など多士多彩なメンバー。

今回の大会は、11月21日から24日の3泊4日、天候にもめぐまれ、蘇州の3都市、蘇州市、張家港市、昆山市でそれぞれ1局ずつ対局した。その間、蘇州市の文化の理解のため、参観場所も塩梅されていた。そもそも宿泊した蘇州市のホテルの横は蘇州城跡地、そして移動時間の合間に、陽澄湖の蘇州最大の重元寺、昆山では古い街並みの千灯古鎮と顧炎武旧居を参観した。

日程に沿って、具体的に紹介。

蘇州の歓迎会：上海浦東空港で金沢チームと合流してバスで2時間余、途中上海市内の渋滞に巻き込まれ遅れ、すでに関係者、中国、韓国の全州チームは、今か今かと待っていた蘇州の歓迎会場に到着。盛大な歓迎が開催された。そこで受け取った「第4回中日韓友好都市交流大会」パンフには、日程、各チームの選手の段が紹介されていた。

翌日の第一局蘇州大会：池田チームの相手は金沢チーム、会場は蘇州の風情あふれた由緒ある「暢園」で行われた。会場には、お茶、お菓子、果物が準備されていた。池田市チーム3勝。

第2局の張家港大会は、宿泊したホテルで中国選手と対局。池田市チーム2勝。

第3局の昆山大会は、大唐自然園で韓国・全州の



選手。池田市チーム5勝。

結果、池田チームは3局全体では10勝で最下位であったが、「友好第一」の成果を上げることができた。初参加の池田チームのことは、地元の新聞にも写真入りで大きく報じられた。

今回の大会は、蘇州市人民対外友好協会、蘇州市棋類協会が主催し、張家港市、昆山市の棋類協会が主管し、よく準備できていて、気持ちよく対局できた、立派な大会であった。次回は2年後の2016年、金沢で開催される予定である。 (大藪二郎)

枚方市目次

「日々の努力と継続が大切」

一本年度・前半の活動を通じて

7月24日(木) 枚方市民会館会議室において、「枚方日中・関西大孔子学院交流茶話会」を開催した。孔子学院からは中国側院長の李曉波先生や専任教員、ボランティア講師6名と、大阪府日中副会長であり関西大孔子学院参与・戸毛敏美先生にも参加いただいた。枚方日中からは山中会長、川辺副会長、奥野理事長をはじめ会員10数名が参加した。今回の目的は、来日間もない中国の若い方たちが、来日前と来日後の日本に対する率直な感想を話していただくことで、お互いを理解し、交流を深めることであった。「日本人のマナーの良さ、勤勉さに感動した。」という意見や、アニメ、将棋の由来、太極拳と話題が尽きることなく、軽食をつまみながら和気あいあいと話が弾んだ。李先生の小学1年生の息子さんが日本の学校で感じたことを話し、将来の頼もしい友



中秋節月見交流会(関西外大学研都市キャンパス・国際交流セミナーハウス)

好の担い手になることを実感した。まさに梅檀は双葉より芳しである。

9月20日(土) 関西外大学研都市キャンパス穂谷第2国際交流セミナーハウスに於いて、関西外大孔子学院との共催による「第3回中秋節月見交流会」を開催した。当日は竹内脩枚方市長、中華人民共和国駐大阪領事館教育室周堂波副領事を来賓に迎え、日中会員、留学生、市民講座参加者など総勢200人余りが参加した。玄関にはススキの生け花や月見団子、中国の美しい月餅が展示され、中国の切り絵のブースや、日中双方の衣装の体験コーナーでは、色とりどりのチャイナドレスや浴衣を着た留学生が写真を取り合ったりしながら楽しんでいた。竹内市長も中国の漢服を着て留学生たちと記念撮影をして頂いた。また、屋内では和服に身を包んだ日中会員が茶道のお点前を披露し、お茶と和菓子を体験していただくとともに、屋外では中国式の茶芸が行われ、香り豊かな中国茶を味わうことができた。開会式では軽快なエレクトーンの演奏のあと谷本榮子理事長、来賓の方々のご挨拶に続き日本と中国の民族舞踊が披露された。その後軽食を食べつつ賑やかに歓談が続き、参加者から非常に楽しく有意義であったという感想が多く聞かれた。

10月4日(土) 枚方市役所前の岡東中央公園で開催された「第15回ひらかた多文化フェスティバル」に参加した。テント内では中国茶芸を披露し、市民の方に試飲をしていただき中国茶の香りを楽しんで頂いた。またフリーマーケットでは中国の品々や日用品などの販売も行なった。今年も関西外大孔子学院に依頼し中国の民族舞踊「惊鸿舞」と「太極拳」をステージで披露していただき、その動作の優雅さや衣装の美しさに参加者は魅せられていた。今年の



関西外大孔子学院5周年記念式典 本協会「感謝状」をいただく



藤井陽子・清治さん帰国報告・ねぎらいの集い

フェスティバルのテーマは「愛」、人と人の愛だけでなく、大きな「隣人愛」で国と国が付き合っていけたらと願う一日でもあった。

10月20日(月) 関西外大中宮キャンパスのインターナショナル・コミュニケーション・センターで、開かれた関西外大孔子学院5周年記念式典・祝賀会に招かれ、関西外大孔子学院の設立・運営に顕著な功績があった団体ということで谷本榮子理事長から感謝状を贈呈された。これからも一衣帯水の隣国である中国との友好に尽力していく決意を新たにされた。

10月25日(土) 枚方市内中華レストラン天安門内「天水苑」において開かれた「藤井陽子さん・清治さん帰国報告・ねぎらいの集い」に参加した。ご夫妻は大阪の教職員OBで作られた「蘇州大学と交流する大阪府教職員の会」から派遣されて、3年間の中国での日本語教育を終えて帰国されたのである。お二人はユーモアにあふれた語り口で中国での素晴らしい思い出をたくさん話して下さったが、在中の間には反日の嵐が吹き、心細いこともあったそうである。しかし学生たちの熱心に日本語を学ぶ姿や「お二人を守ります!」という多くの学生や家族の方々との交流を通して実に実りある日々であったと話を結ばれた。今後とも日中友好に寄与したいということで、その場で枚方日中の会員となることを快諾していただいた。

こうしてこれまでの活動を振り返ると、日々の努力と継続が如何に大切かを痛感する。来る年がさらに充実した年であることを祈りたい。

(担当理事・森田洋子)

高槻市
日中

「高槻日中だより」を発行、 「中国料理教室」を開催

いずれも、出来上がりは上々



中国料理に挑む参加者
2014.11.16 中国料理教室 クロスバル高槻にて

2014年度4月から10月に実施した事業・行事の内容を報告し、併せて翌年3月までに確定、または計画している諸事業・行事を案内及び紹介する「高槻日中だより」第3号を11月1日付けで発行した。今年は主担当者が変更になり、それぞれ事業・行事担当者から提出された原稿の編纂に、十分な擦り合わせの時間がなかったこともあり半月遅れとなった。

今回は、まず文字を11ポイントに大きくしたことと、A3判の表裏にしたことと、写真を大きくやや不鮮明だったがすべてをカラーにした。結果は、読み易くて見易くなったと会員さんからの評判を伝え聞いている。

11月16日(日)、第4回日本人向け「中国料理教室」を、クロスバル高槻・食の工房で開催し、過去最多となる定員の25人(日本人12人、中国人13人)が参加した。11時から、参加者は日本人・中国人が均等に4テーブルに分散し、例年通りホテルで長年シェフを務めた経験のある劉忠金氏(当協会会員、青年部副部長)の指導の元で、事前に用意されたレシピに従い「八宝菜」と「にら饅頭」、それに「お粥」つくりを挑んだ。各テーブルでは、柏葉副理事長ほか中国人から細部説明や助言を受けながら奮闘すること1時間半。できあがった3種類の料理試食を前に、先ず全

員が自己紹介を行い相互の親睦を図り確かめ合った。

試食会では、3種類とも大変好評だった。中でも「にら饅頭」の出来栄は至極好評がよかった。試食会の最中、辻元顧問が顔を出し各種料理の手際を感じ入っていた。定刻の午後2時、来年の再開を誓い散会した。

(理事・笹井 宏)

堺
日
中

楽しく意義のあった 二つの行事



「国際ふれあいの集い・堺」会場

11月25日(月) ホテル・アゴーラリージェンシー「国際ふれあいの集い・堺」は、堺市姉妹友好都市協議会の主催で、堺日中友好協会のほか堺・パークレー協会、堺・ウエリントン協会の合同行事として毎年12月に行っているが、昨年は11月の開催となり、他の行事との重複が避けられたからか、外国人留学生や研修生の姿が多く見られた。

中国総領事館からも盛、宋、李の各領事が参加され、堺市での国際交流の賑やかな夕べを満喫された。

会は、方違神社の「神楽」で幕を開け、市長や市議会議長の挨拶のあと諸外国から参加された代表者の紹介があり、恒例の立食パーティで楽しい歓談のひとつときを持った。

堺日中友好協会は、今回参加者のお目当ての抽選会担当となった。抽選会では堺市内の多くの企業から寄付を受けた数々の景品を空くじなして全員に提供でき、また大きな賞に外国の研修生らが当たるなど大いに盛り上がった。最後に「今日の日はさようなら」を全員で大合唱して、楽しい夕べを終えた。

12月14日(日) 浜寺青少年センター

当日は思いもかけなかった歳末選挙と重なったが、公募の中学生(今回は21名)の参加で、インターナ

シヨナル・キャンプと称する授業とバーベキュー、ゲームなど、終日英語しか使えない、頭が痛くなるが、交流は楽しい集いが、堺市姉妹友好都市協議会の主催で、羽衣の府立施設で催された。堺日中友好協会が運営当番に当たっていたため、中国の日常生活紹介の講話もあり、上々の評判であった。若者たちに、異文化を理解することの大切さを知ってもらうことが何より大事だと感じた1日だった。

(会長・曾我部篤爾)

岸和田市日中

2014年度の活動



「みかん狩り」 総領事館からも9名参加

交流サロン第1回目は9月18日「煎茶を楽しむ」。日本文化の紹介とのタイトルで開催、会員で茶道の講師をされている中賀祐子会員の指導で行い、岸和田在住の中国人大学生を中心に13名が参加、煎茶と和菓子を頂きながら、煎茶の歴史などを教わりました。大学生にはゆかたを着せてあげ、あと着ていただいた単衣一式をプレゼントしました。

第2回目は10月24日に開催、第2次大戦中6歳まで中国大連で過ごされ終戦後引き揚げられた経験を持つ上野嗟恵子さんの中国での生活を中心に語っていただき、そのあと参加者でいろいろお聞きしました。中国では幼少期だったので直接の戦争体験はされていないので戦争経験者とはまた違った話を聞くことができました。

10月18日「中国音楽の夕べ」を開催。出演者は全員、新疆・ウイグル出身でウイグルの歌と踊りを存分に演じていただきました。第一部では映像を通してウイグル自治区の紹介があり、日本からは中国の

中でも最も離れた地域なので分らないことも多々ありましたが、少しは親しみを感じるようになりまし。第二部では「歌舞に長けた民族」のエネルギー満ち溢れた歌と踊り、華やかな民族衣装、最後は参加者全員総出での歌唱にあわせての舞で会場は熱気にあふれた雰囲気フィナーレを迎えました。

11月3日「ミカン狩り」。秋晴れの下、北阪町のミカン園で実施。中国総領事館からは孫 忠宝副総領事他計9名の参加を頂き快晴の一日楽しく過ごす事ができました。ミカンの木を見るのも初めてとの総領事館の人もおられ熱心にもぎ取っておられました。総領事館の人は日本語が堪能なので食事時もあまり中国語が飛び交う様子も見られず、またお土産の紹興酒が美味しく、いつもより飲む量の多かった人もおられたようでした。(会長・武井俊成)

河内長野市日中

日中中秋節と 日中友好豚まん



高野街道祭りで豚まん880個を完売



9月7日、1日早い中秋節を地元長野町会の皆さんをご招待して、石川のほとりの如来会館にて開催しました。

総勢20人ほどが集まり、中国朋友が朝から準備してくれた水餃子、蘭州拉麺、中華サラダそしてビールに舌鼓を打ちました。宴終了時には丁度、長野公園の山の上に満月が顔を出し、思い出深い一夜となりました。

10月26日は素晴らしい秋晴れの下、今年も高野街道祭りで豚まんを販売しました。昨年は500個を午前

中に完売した実績があったので、今年は気合で880個に挑戦。地元中国朋友3人娘の遠慮のない呼び込み(?)と蒸し上げ部隊の連携が効を奏して、今年も午後2時前に完売。あまりの忙しさに、疲れも忘れました。夕刻には店をたたみ、慰労コンサート会場(駅前のカラオケボックス!)にて小城故事を大合唱しました。(会長・大原一郎)

豊中市日中

紹興周恩来記念館代表団 が三義塚へ



紹興周恩来記念館の一行が三義塚を訪問

豊中市日中友好協会では12月6日、紹興周恩来記念館代表団、曾紹暉館長、王瑛副館長、馮燁主任ご一行の訪日歓迎懇親会をホテルアイボリーにて開催いたしました。

かねてより紹興市対外友好協会並びに紹興魯迅記念館、紹興周恩来記念館、紹興文理大学などを訪問し、魯迅と西村真琴の秘めたる友情物語を通して友好交流を深めてまいりました。1999年6月、紹興魯迅記念館を訪れました折り、館長から三義塚詩碑建立は特別な意義があり、我々紹興魯迅記念館一同は豊中日中に敬意を表するとともに、後世にこの素晴らしい歴史物語を伝えて、中日両国人民の相互理解と友情を伝承、増進し、歴史を鑑として中日友好を続けることが出来れば、かつて孫平化先生が言った通り、日中は一衣帯水の良き隣人となり、中日両国の人民は子々孫々友好を深めて行けるとのお話を伺いました。

その言葉に感動を覚え、豊中日中では今日まで魯迅と西村真琴を顕彰し、広く日中両国民に伝える努力をすると共に、本年6月には紹興市を訪れ、豊中

日中友好協会15周年記念イベントとして開催した「魯迅と西村真琴展」並びに講演会などについて報告致しました。

紹興市対外友好協会では豊中の三義塚を広く中国人民に伝える努力をする事を約束、今回の紹興周恩来記念館一行の三義塚訪問となりました。当日午前8時30分豊中市長浅利敬一郎様の出迎いで、ご一行が三義塚に到着、三義塚建立の経緯について説明し、懇親を深めました。

夕刻には谷井昭雄・大阪府日中会長をはじめ、多くの日中友好を願う友好同志にご臨席を頂き温かい環境の中で友情を確かめ合うことが出来ました。一重に感謝を申し上げ報告と致します。

(会長・田中潤治)

松原市日中

協会活動報告とご案内



26.11.9.管理栄養士による栄養セミナーの講演風景
松原市三宅公民館

皆様、明けましておめでとうございます

さて、当協会は昨秋に、松原市役所より管理栄養士を招いて“健康食の食談会”と題して健康食のセミナーと手作り料理による交流会を厨房設備のある三宅公民館で開催致しました。

食材は奥村副会長の自給農園から提供して頂き、他は調達して持ち寄りして会場には36名の地域の方々で賑わいました。

今年の新春活動計画案は、春節祭に伴って恒例であります野外活動南京街の散策、他に地域市民団体との日中料理交歓会を計画中です。

そして、今年は松原日中友好協会設立20周年と松原市制施行60周年と重なり市民協働事業にも参加して日中友好の活動紹介と広報活動を企画参画の予定です。

その他に府日中や各地区協会の諸活動や地域市民

団体の交流事業への参加を含めた活動をして参りたいと思います。

尚、松原日中友好協会では、今年も地域の各市民活動団体と民間レベルで協力体制を共有しながら協働事業活動を目指し、協会活動を地域の方々にご紹介と広報活動を広く実践して参ります。

今後ともご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。
(会長・牛浜龍男)

吹田市日中

北京釣魚台国賓館の 思い出



平成26年度の吹田市日中恒例事業として、西日本中国人留学生一泊研修会、仲秋明月際出店、中国訪問、そして諸会合出席参加と、多くの行事を行ってきましたが、なかでも9月19日に出発25日に帰国した北京、蘭州、西安への訪中旅行が印象に強く残っています。とりわけ、駐大阪総領事館のご支援をいただいた北京釣魚台国賓館宿泊は、クラシック調のフロントでの鄭重なチェックインに少し緊張しているせいか、視界に入る玉淵潭の庭園や迎賓棟の数々が霞んで見えます。案内された迎賓棟に入ると、見事に外部と隔離された居住空間が私たちを迎えてくれました。

さすがに、ここでのディナーは遠慮して朝食を予約しました。翌朝6時半という我侷な時間にもかかわらず、長身、制服の美しいウエイトレス5名と2名のウエイターが控えてくれて、金色の縁取りをした見事な食器が13人分整えられています。

生涯で一番立派で、格式のある朝ごはんでした。後で聞くと全員が同じように感じたそうです。

次の目的地蘭州に向かう空港バスが国賓館を出るとき初めて、多くの武装警備員が昼夜を問わず静かに配属されている様子が目に入りました。それはそうでしょう、世界各国のトップクラスが毎日のようにこの迎賓館を訪れているのですから。

満たされた余韻がまだ冷め切れない内に、一行は青々とした天空が紫外線を伴ってまぶしく輝いている欄州空港に着陸しました。

蘭州吹田友人之家の人たちが、前領事の王君朝氏と一緒に出迎えてくれています。西北師範大学が準備してくださった晩餐会で今回初めての中国料理に出会い、なんだか落ち着きを取り戻した気になりました。

蘭州師範大学での公式行事を終えたあと、天水市の世界遺産、麦積山石窟を参観、翌日は今回の訪中の目玉である火車(汽車)行程で西安に向かいました。

西安観光を最後の日程とした最終日、想定外のハプニングが発生しました。台風の上陸で帰国便が離陸できません。現地ガイドと五大陸の神田社長の懸命の調整で急遽予定変更、北京に戻って国際飯店に一泊延長のチェックインをしました。

この日の北京は話題の2.5が消え去り、蘭州の青空に負けない北京秋天が広がり、故宮の大理石は白く輝き、天安門広場は眩しく広大でした。夕食は北京ダックをガヤガヤと笑顔でいただき、思いがけず豪華な北京好日でした。北京の費用は出発前に掛けた旅行保険ですべてを賄い、初めから終わりまで良いこと尽くめの訪中旅行でした。幸運はさらに帰国後、保険会社から賠償金が振り込まれて、まるでオンプに抱っここの有終の美を飾れました。謝謝。

(吹田市日中副会長・和田 融)

阪南市日中

恒例の中秋節の会と 新しく「阪南市の秋祭り を楽しむ会」を開催



中秋節、阪大留学生による
舞踊の披露



中秋節の懇親会

秋以降の主な活動といえばまず中秋節。9月8日、隣の岬町にあり「化石寺」の名でも知られる名刹・宝樹寺で開催しました。参加者はゲストを含めて37名。会員の他に和歌山外国語専門学校の中国人学生、地域の中国人、関西日中平和友好会の見本会長、阪南市日本語クラブの森会長、それに熊取町日中の樫井さんご夫妻、豊中市日中の清水さんと、多彩な顔ぶれになりました。

出しものは、阪大中国人学友会の7名の女性院生によるダンス「玉生煙」。立派な本堂で仏様を背にした踊りは、そのミスマッチさがまた楽しい効果をあげました。さらに歌やチアダンスも。土井住職が中国との関りや檀家である故門前副会長の思い出を語られ、黒竜江省出身で僧侶修行中の付浄海さんを紹介して下さったのもうれしいハプニングでした。

懇親会も酒好きの多い当協会だけに、いつもながらの盛り上り。欠席した会員やその友人たちからのお酒や月見団子、お花、お菓子などの差し入れも感謝、感謝です。

10月5日には、関西日中平和友好会と共催で「阪南市の秋祭りを楽しむ会」。当市の山車「やぐら」のパレードを中国の人たちに紹介しようというもので、

ゲストの武月中・国家観光局大阪事務所長、総領事館の趙、周両領事はじめ両会から多くの参加がありました。

「やぐら」は岸和田などの「だんじり」が4輪なのに対して2輪の泉南地方独特の山車で、中国人はもちろん日本人にとっても興味深いようでした。

市役所で福山敏博市長と会談、やぐらの魅力や当市の観光PR、中国との観光交流について話し合ったのも収穫でした。そのあとは当然ながら、両方の会員同士の懇親会。

このほか、堀畑理事長のお世話によるハイキングが2回あり、斉藤理事が出演する天翔楽団公演の合同鑑賞も例年のように行いました。(会長・中務武志)

熊取町日中

創立20周年記念行事 決定！

労作『万葉集の中の異国』完成！



労作『万葉集の中の異国』を編
集された武内孝之氏。
9月サロンにて

創立20周年記念行事決定！

2015年7月12日(日)、20周年記念式典並びに講演会、祝賀会を行うことになりました。熊取交流センター煉瓦館コットンホールにて。記念誌の発行も計画しております。

労作『万葉集の中の異国』完成！

9月27日(土)武内孝之副会長による「万葉集の中の異国」と題した講演会を行いました。「遣新羅使歌、遣新羅使人はなぜ新羅を詠わなかったか、阿倍仲麻呂の歌の源流について」に加え、阿倍仲麻呂が望郷の思いを綴った漢詩も紹介していただきました。

サロンの資料として、これまでの資料に手を加え完成された冊子を頂戴しました。その冊子の「はじめに」の一部をご紹介します。

いつの頃からか、NHKの衛星ハイビジョン(当時)

において、「新漢詩紀行」という番組が放送されているのに気づき、楽しみに視聴していた。その放送が、2008年に「日めくり万葉集」に変更になったが、惰性で見続けていた。翌2009年元日午後5時～8時に同じく衛星ハイビジョンで放送されたNHK特集番組「万葉への招待」を視聴して以来、すっかり『万葉集』の虜となってしまった。(中略)本書をまとめるに当たって、『日めくり万葉集』vol.1～vol.24を読み直し、抜けていた記事はつけたし、余計と思われる記事は省き、編集して短くなっていた文章は、原文通りに戻すとともに、解説記事も引用させていただいた。(中略)特に遣唐使歌については、紹介されていない歌も付け足しているの、ほぼ網羅していると思う。いずれも中西進氏『万葉集』(1)～(4)から引用させていただいた。いずれの場合も専門的すぎるとされた文章は省略させていただいたので、初めて万葉集に接する方にも読んでいただけるのではないかと考えている。(後略)

8年近く万葉集に対峙されたご努力の結晶です。このように日中韓の視点で編集された資料は他に類のない大きな宝物だと思い、ご紹介しました。

(事務局長・有岡トシエ)

連れなど多くの方にご参加いただき盛況の内に無事終えることができました。普段、料理をしない男性や子ども達にも喜んでもらうことができ、開催した甲斐があったと思っております。

政府間では、安全保障上の問題など緊張が続いておりますが、このような市民レベルでの交流を通じて、日中の友好を深めてゆければと思っております。

(藤井寺市日中友好協会事務局)

大阪三島日中

2014日中友好青少画展 大盛況でした！



11月29日～30日、日中友好青少年書画展を府日中と昨年に続き共催。江蘇省人民対外友好協会の協力により、徐州市睢寧(けいねい)県の小・中学校から30点の絵画作品が出品。摂津市と近隣の小・中学校の児童生徒から、絵画81点、書道86点、一般作品5点の合計202点が展示されました。摂津市、摂津市教育委員会、中国総領事館、摂津市国際交流協会、日中産業交流協会から後援を戴き、2日間で延べ500人を超える大盛況でした。

11月30日の表彰式では、受賞の子供達やそのご家族200名近い参加者でロビーは一杯。主催者代表で小林貞夫会長代行が挨拶、来賓祝辞が、森山一正摂津市長、渡辺慎吾摂津市議会議長、大藪二郎府日中副理事長からあり、大矢優子摂津市教育委員長、宋雄偉副領事、西島英信摂津市国際交流協会会長から受賞者へ賞状が手渡されました。宋雄偉副領事からは真紅の賞状入れで手渡され、会場から一段と大きな拍手を受けていました。

徐州市からの子供たちの絵画作品は、色彩が鮮やかで特に注目を集めました。

(大阪三島日中事務局長・江原 均)

藤井寺市日中

市民レベルでの交流



市民祭りでの
太極拳の演武を披露

中国料理教室
を開催



当協会では、例年のイベントであります市民祭りでの『太極拳』の演武を多くの観客に披露することができ、好評のうちに終了しました。

また初めての試みとして、去年9月に国際交流協会と共催で『中国料理教室』を開催いたしました。参加者は、在日の中国人の方を含む老若男女、家族

会・員・消・息

魯迅仙台留学110年記念に
参列しました

寺本 久子

魯迅仙台留学110周年の2014年10月、魯迅碑前式典に参加してまいりました。初めて訪ねた仙台は、まだ震災の爪跡が残り、仙台城の石垣も修復できないままでした。魯迅の碑は仙台市博物館の下手にあり、真っ先に目に飛び込んできたのは胸像でした。

紹興市人民政府から贈られた胸像は、東北大学のキャンパスにも同じものがあるらしい。魯迅の碑は胸像の左手に聳えるように建っている。高さ4・5mもの堂々たる碑である。「魯迅の碑」の文字は郭沫若の筆になるもの。その上部に晩年の魯迅が煙草を手にした横顔のレリーフが嵌め込まれている。さらに目を下ろすと、縦書きの日本語の解説文が刻されている。

中国の文豪魯迅は1904年秋から1906年春まで仙台に留まり、東北大学医学部の前身である仙台医学専門学校に学んだ。しかし、故国の危機に心をいため、民族の魂を救うことが急務であるのを知り、文学に志すようになった。仙台は転機をもたらした土地である。中国の新しい文学の暁を告げる数多くの作品・評論を書いた魯迅の、若き日の留学を記念し、敬慕する人々の手で碑をたてて、偉大なるおもかげを永遠につたえる。

魯迅が西村真琴に贈った詩も文中の「作品」の一つだと思うと、感慨深い。この解説文は碑の右側面にあるプレートに点字、中国語、英語でも記されている。立碑は1960年12月、除幕式は1961年4月。偉大な文豪誕生の契機となったこの地に今こうして存在し、人々の心に訴え続けていることの意義を強く感じたことだった。

式典の会場に献花の花だらうかきれいな花が運び込まれ、参列の人々が増えてくる。周寧さんの姿も見えた。ご主人の田中さんがご一緒されている。周さんは魯迅のお孫さんで日本に在住されている。昨年の豊中での魯迅西村真琴シンポジウムでは、松尾宏さんとお孫さん同士の対面を期待していたのだが、残念ながらお姿が見えず心配していた。会えてよかったと安堵する。

「魯迅先生逝世78周年碑前祭・記念講演会・交流会」が始まる。開会挨拶と司会は、江幡武宮城県日中会長。程永華大使も東京から到着。

魯迅の令孫周令飛さんの口髭のある風貌は祖父を思わせる。周寧さんのお兄様で上海在住。お話も上手で



ざっくばらん。魯迅が医学から文学に転向された経緯を具体的に解りやすく話された。その娘さんはロングヘアーの似合う現代的女性で、西村博士のお孫さんとイメージが繋がった。

紹興魯迅記念館館長、中国留学生学友会、魯迅仙台留学110周年祭市民の会、実行委員会代表などの献花とお話が続き

て式典は終了。バスで東北大学へ異動する。

記念講演会のスピーカーは4人。紹興魯迅記念館の張麗君館長は知的にも静かに、新潟総領事館の張袁松領事はレジュメも用意され、日本語で「魯迅の日本留学から思うこと」を力強く、東北大名誉教授の魯迅研究者安部兼也さんは80歳と思えぬ元気でそれぞれに語られた。

私の胸に強く響いたのは、大内秀明実行委員会代表のおはなしである。

盧溝橋事件から77年になるが、当時の仙台の様子や市民の心情を伝える東北大学新聞の記事が見つかったという。中国に帰る留学生たちを、親しい人や下宿のおばさんたちが、衣服などを添えてこんな言葉で見送った。

「きっと帰っていらっしやい!」「帰ってくるよ!」「待ってるからね!」

そんな声があちこちで聞かれたと。当時の状況のもとでも、日本と中国の民衆は心の中ではけっして争っていないのだと。

「このときの市民の心を忘れてはいけぬ。その心を確認しながら日中友好活動を薦めていかなければならない」と強調された大内さんのお声が今も私の中にこだましている。

翌日の朝早く、魯迅の下宿跡を訪ねた。そこにはひっそりと郭沫若の筆になる「魯迅故居跡」の碑がある。私はこの碑を守ってくださっている方にお礼を言いたくて、玄関のベルを押したのだった。美しい女性が玄関にお顔を見せてくださった。(つづく)

(三義塚を顕彰する会)

つれづれちゅうごく
はらだおさむさんが「徒然中国」を出版しました

相談役のはらだおさむ(原田 修)さんが、「徒然中国—みてきた半世紀の中国」を出版しました。毎月発信、昨年12月で81回を数えるメール通信「徒然中国」から41篇を選んでまとめたもの。商社マン、日中経済交流のコンサルタントとして、また中国と中国人をよく知る文化人として訪中歴二百数十回に及ぶ原田さんの豊富な体験と思いが、鋭くまた温かい目でつづられています。第1部・あのとき、あのころ／第2部・旅に出て……／第3部・映像の世界の3部構成。

桜美林大学北東アジア総合研究所刊 1500円+税

書店にも出ていますが、原田さんに直接申し込めば、税・送料込み1500円(後払い、振込み料原田さん負担)で届けるとのことです。

メールアドレス harax2@jttk.zaqq.ne.jp



各協会の地図



編集後記

- * 年末に突然飛び込んできた衆院選、それも自民党の圧勝。この結果今年の日中関係への影響は? 悲観説、楽観説こもごもですが、さて……。
- * 久しぶりにミナミの「黒門市場」を歩きました。お客の半数くらいは中国からの観光客。魚の店の簡易カウンターで握りずしや刺身を楽しむ姿が目立ちます。「食」という生活の基本では、反日、反中の声も遠くにかすんで見えました。「民」は健全です。
- * 「健さん」が亡くなりました。中国の知人がかつて「高倉さんの映画を見て、それまでの日本、日本人のイメージが変わった」と語ってくれたのを思い出します。(志)

お気軽にお越し下さい

NPO法人 大阪府日本中国友好協会

〒543-0052
 大阪市天王寺区大道5-4-6
 大阪スカウト会館2F
 TEL: 06-6770-0080
 FAX: 06-6770-0707
 Eメール: jcf@mail.infomart.or.jp



青年部メンバー募集!

中国好きの方、中国語を学習している方、在日中国人・留学生との交流などに興味のある方、青年部メンバーになりませんか。学生、在日中国人の方も大歓迎です! みんなで楽しく、日中友好交流活動に参加しましょう!!

- 対象: 若い方
- 会費: 年間 3,000円 (一般会員年間 12,000円のところ)